

なきごえ



1979

2

大阪市
天王寺動物園協会

前木 孝道



北海道に生れた私は、夏はむせ返る様な雑草の息吹きの中で、トンボの大群に包まれながら、トノサマバッタやヤンマを追いかけ、その大きな複眼に驚かされたり、ザリガニ採りや魚釣りに時間を忘れ、冬は雪の上で兎の糞をかけるなど恵まれた自然の中で少年時代を過しました。私が初めて上野動物園と国立自然科学博物館をみたのは、大学を卒業した年でした。その時、この2つは私にとって大変な驚異を感じさせました。処が昨年、自然科学博物館を訪れる機会がありましたが、今度はその内容にがっかり致しました。米国や欧州の立派な博物館を沢山見過ぎた故か、それとも私も年で感受性が鈍くなったのかと思っております。

大学では動物学を専攻し、動物細胞学を看板に致しておりますが、幼い時から生物の好きであった私は、なんの抵抗もなく今日の道を歩んで来ました。卒業研究で牧野佐二郎教授から「蝶類の染色体研究」というテーマを戴き、当時はまだ鱗翅類のなかで蝶と蛾が共に成熟分裂を幼虫時代に完了すると思われていた時代で、材料にはイモムシを採集して調べる様にといわれ、人參の葉を喰べているキアゲハの幼虫を思い出して、いささか気後れも致しましたが、慣れるに従い、次第にイモムシや毛虫が可愛くなってきました。その時代に幼虫を用いなくとも、採集しやすい飛んでいる蝶を材料として、成熟分裂の染色体が調べられる事が分って、それ以後今日まで30年間、蝶とのつき合いに明け暮れております。今迄に日本、台湾、香港、フィリピン、ヒマラヤ、マレー、アフリカ、濠州、ニューカレドニア、フィジ

一、トンガ、ツブアイ、米国、メキシコ各地の蝶、凡そ 1,000種について染色体を調べたと思います。目的は、この種はどんな数や大きさの染色体を持っているか？という興味から始まって、近縁な種間の類縁関係を染色体から見出そうというものです。現在は友人の南山大学阿江茂教授によって人為的に作り出された、Papilio (アゲハ)の種間雑種 (F1)の第一成熟分裂で起る染色体対合の程度から、種間の類縁関係を遺伝子の相同性から推測しようという仕事に重点を置いております。この仕事も初めて手掛けてから何時の間にか20年の年月が過ぎました。

日本の有名な鳥類学者が最初蝶の研究を志したが、ある人に蝶の研究は女性のする仕事といわれ、鳥類の研究に転ぜられたとお聞きしたことがあります。私は20年前に米国エール大学の Charles L. Remington 教授 (鱗翅類を主とした進化遺伝学者)の許に留学した時、その事をお尋ねしますと米国では鳥の研究は女性の仕事で、蝶の研究は男の仕事になっていると話されました。二年前に再び Remington 教授の許で仕事をしましたが、帰途フィンランドのヘルシンキ大学に Esko Suomalainen 教授、ユーゴスラビアのザグレブ大学に Z. Lorkovic 教授の御二人の老大家を訪れて御研究をみせて戴き、御指導を戴いた事は私にとって終生忘れられない幸でした。自然科学は国際性の強い分野ではありますが、特に動物を相手にしている私達は他の分野とは異って、動物を愛する人間に共通のものが有り、また違った分野の人達からも、例えばフィリピンの山奥でも蝶の採集のために日本から来たという、浮世離れの故か多くの人達が何の警戒心もなく私と話し合ってくれました。この様に綺麗な蝶を相手に、好きな仕事が出来て、一生を終ることが出来たら、こんな幸なことはありません。

(関西学院大学理学部教授)

なきごえ2月号もくじ

動物と私 2
“アカカンガルーの赤ちゃん、お目見え” 3
動物園グラフ・動物園日記 4・5
上海西郊公園との技術交流 6・7
天王寺の動物たち (23) 8・9
獣医室から ㊹ 10
動物園ニュース 11

表紙の写真説明

“エジプトガン”
水禽放養舎の住人エジプトガンはアフリカ北部に分布するガンです。眼の周りの模様がなんともユーモラスです。

(撮影：長瀬 健二郎)



“アカカンガルーの赤ちゃん、お目見え”

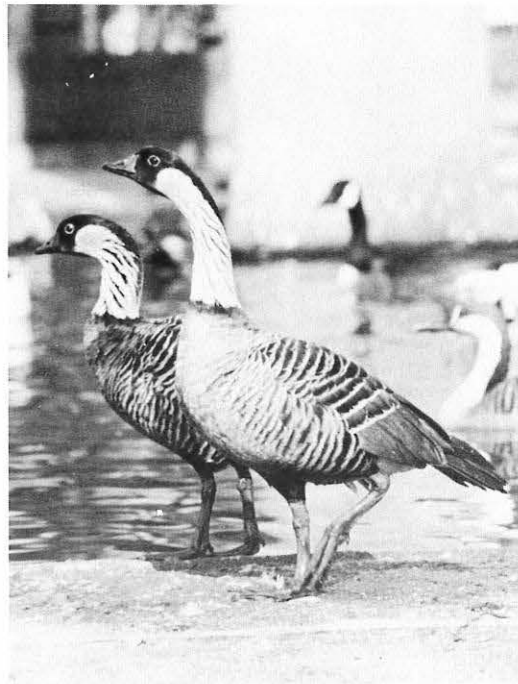
昨年9月頃より袋の中に入っていることが確認されていたアカカンガルーの赤ちゃんは日ごとに成長し、12月末頃からは顔もやっとのぞかせるようになりました。

(撮影：葭谷 文彦)

動物園グラフ “ガンカモ特集”

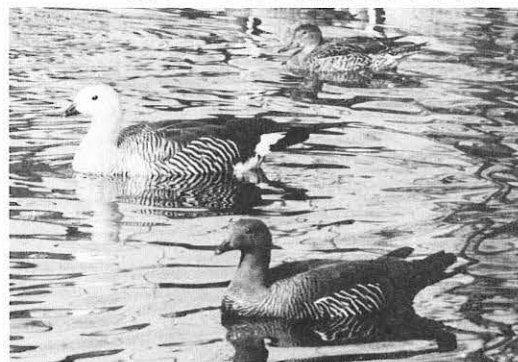
暖冬も終り、本格的な冬が始まりました。寒さにふるえる鳥達が多い中で、冬こそ天下と一段と美しさを増す鳥がガンカモ類です。今月はそのガンカモ類を特集してみました。

(撮影：長瀬 健二郎)



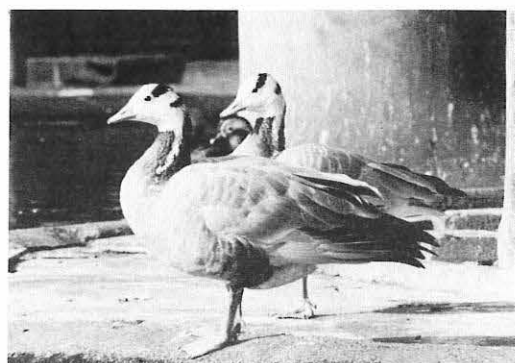
インドガン

中央アジアで繁殖し、冬期にはインドやビルマの北部に渡るこのガンは、渡りの途中エベレストを越えるそうです。



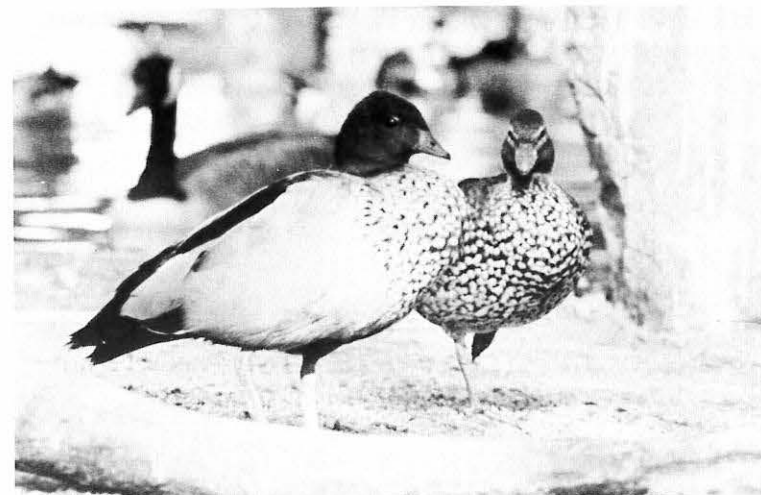
マゼランガン

このガンは南アメリカのチリーから南端のティエラ・デル・フエゴにかけて分布します。頭の白い方がオス、手前がメスです。



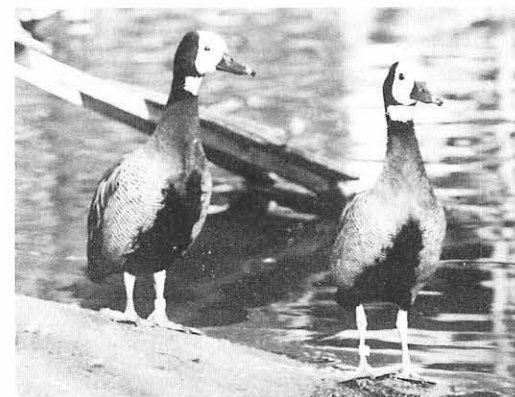
ハワイガン

原地ではネネと呼ばれるこのガンは一時50羽以下にも減りましたが、手厚い保護により今ではその数も回復しました。



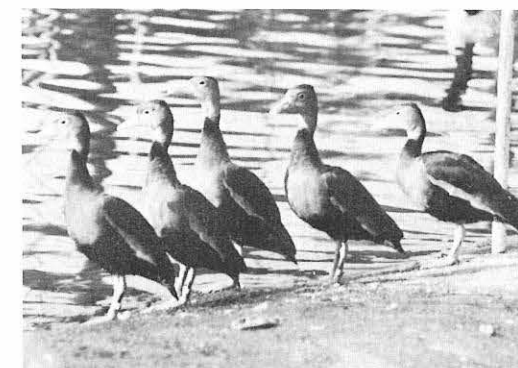
↑ タテガミガン

オーストラリア内陸部に住むこのガンは日本ではあまり飼われていない珍しいガンです。



← カオジロリュウキュウガモ

このカモはとても分布域が広く、南米の熱帯地方からアルゼンチンやウルグアイ、アフリカのサハラ南部からアンゴラにかけて、またマダガスカル等に住んでいます。



アカハシリュウキュウガモ

→ 中米から南米にかけて住むこのカモはピューピューと笛を吹いたような美しい声でなまきです。

12・1月の動物園日記

- 12/11. 今までいた3頭のブタが出園し、代わりに仔ブタが3頭入園しました。
- 12. 10月に生まれたトラの赤ちゃんが、母親に食べられてしまったので、残りの赤ちゃん1頭を人工哺育することにしました。
- 13. シマウマに駆虫薬を飲ませました。
- 14. 当園からオスのアライグマ1頭を、行川アイランドに送りました。交換に、オスのアネハヅル1羽をもらいました。

- 15. キョンが1頭出産しました。ちゃんと哺乳をしているので安心です。
- 17. コンドルが産卵しましたが、残念なことに食卵してしまいました。
- 18. 今までいた老令のダチョウが出園し、代わりに、2ヶ月令のヒナが3羽入園しました。
- 19. ニジキジのメスが尿酸塩沈着症で死亡しました。
- 20. トラの父親と息子がけんかをして、父親がひどい外傷を負ったので、麻酔をして手術をしました。

- 21. 昨日のトラが死亡しました。解剖してみると、著しい腹腔内出血や皮下出血が見られました。
- 24. 放線菌症で入院していたアカカンガルーが良くなったので、退院しました。
- 25. アカカンガルーの仔が初めて袋から顔を出しました。
- 27. ダマシカのオスが1週間ほど前から食欲不振に陥っていたので、第1胃切開術を実施しました。すると予想通り、ビニール塊がドッサリ出てきました。

- 28. イノシシが脱肛を起こし、出血がひどかったため、手術をして、修復しました。
- 30. 脱肛をおこしていたイノシシが衰弱死しました。
- 1/4. 12月に退院したアカカンガルーの、左上顎が再び腫れてきたので、再入院させました。
- 6. ベンガルヤマネコのオスが鼻汁を出しているため、薬を飲ませました。
- 7. トカラウマが食欲不振で下痢をおこしているため、注射をしました。

上海市西郊公園動物園との技術交流会について

大阪—上海友好都市提携に伴う第三次動物交換のために、昭和53年11月

10日に上海市から西郊公園動物園の園長以下4名が来園され、翌11日に両

園関係者の中で技術交流会が開かれました。

参加者は、西郊公園動物園からは、趙沛園長、顧文儀技術官、呉振千技術官と通訳の宗明官氏の4名、当園からは中川園長はじめ獣医師、キーパーの16名で、天王寺美術館会議室に於て、予定の2時間をオーバーするほどの熱のこもった質疑応答が交わされました。

以下、その内容をかいつまんで御報告致します。

中川園長

「毎日のスケジュールでお疲れのことと思います。しばらくの間、意見交換をさせて頂きたく思います。野生動物の飼育は、家畜のように学問的にも確立されていないため、わからないことが多く、毎日のように新しい問題にぶつかって苦勞しています。このような意味で、本日の意見交換は、両園の発展につながると思われます」

趙園長

「私も、今回の技術交流は、大変意義のあることだと思います。西郊公園動物園は、1954年開園と歴史が浅いため、飼育、繁殖技術が進んでおらず、まだ動物園としては完全でないため公園と呼んでいます。上海で一番大きな公園で面積70ha、飼育動物数は340種2000点です。職員は500余名おり、そのうちキーパーは120名、獣医師が5名、緑化、公園関係に100名、食堂などのサービス関係に100名、機械・土木・建築に100名の職員がいます。施設としては、キーパーの養成を目的とする技術研修学校（3年制）や病院、繁殖センター等があり、現在、汚水処理施設を建設中です。

今日の技術交流会では、長い歴史をもつ天王寺動物園の御意見を聞かせてもらいたいと思います。

まず、天王寺動物園の管理面についてお聞きしたいと思います。上海の動物園は、天王寺に比べ、規模が小さいのに500名もの職員がいます。天王寺の30名のキーパーに対し、上海は120名もいます。

（例えば、天王寺では、トラ担当のキーパーは1名



とお聞きしましたが、)少ない人数でどのようにして管理しておられるのかお伺いしたいです」

橋本飼育課長

「西郊公園の面積は当園の7倍もあるので、公園管理の面において、人数が多くなるものと思われま。トラの担当者は1人ですが、休みの日には、代わりの者が世話をするように2人1組になっています」

趙園長

「私達の動物園では、午前中は非常に忙しく、午後はやる仕事が多くなります。天王寺動物園では仕事の時間帯はどのようになっていますか？」

正木係員

「トラの場合、午前中1時間半くらいかけて掃除をします。午後は、観察に時間を費し、3時頃から動物を寝室に追いこみ、餌を与えます」

顧文儀技術官

「動物の糞便、尿はどのように処理しているのですか？」

橋本飼育課長

「洗い流せるものは、流して大阪市の下処理場で一括処理をし、形あるものは公園緑地の肥料として利用しています。過剰になれば焼却することも考えています」

趙園長

「上海の動物園では、夏に肉食動物が伝染性の消化器系疾病によくかかります。その際に、当園では、補液を行なっていますが、天王寺ではどうしていますか？」

宮下獣医

「当園では、寄生虫が原因で消化器系の病気にかかるものがよく見られるため、定期的に駆虫を行なっています。伝染病は、トラ、ライオンに見られましたが、隔離できるものは隔離して治療に力を入れます。点滴は、できるものにはしますが、元気でなかなか点滴できる状態でないものには、当園ではあまり行ないません」

趙園長

「当園では補液はよく行ない、ゾウにでもしています。草食動物で肝臓に住血吸虫の発生することがよくありますが、そちらはどうですか？」

宮下獣医

「かつてクロサイで肝蛭の出たことがありましたが、今では大都市では見られなくなりました」

樽本主査

「寄生虫の感染を予防するために、青草を干草に切りかえ、一年中干草を給与しています」

趙園長

「天王寺動物園からいただいたペンギンは殆んど死亡しました。死因はバイ菌病でした。白血球中に住血吸虫を発見したので腸チフスとして治療したところ、治療を通じてバイ菌病になったのです。この診断は正しいでしょうか？」

中川園長

「当園でも飼育始めた頃、下痢、呼吸困難、食欲不振で倒れるペンギンが多く、これは肺にアスペルギルスというカビが生えるために起こったものです。原因は、無菌地帯より都会地へ運んだためにおこるもので、入園当初は低温度で飼育し、運動不足を防ぐため、広い運動場で飼うことが大切です。伝染性疾病のため、隔離の必要があります。治療は、オーレオスライシンという抗生物質の吸入、投薬方法が一般的です。アスペルギルス症は特異な呼吸器症状を呈するため、すぐ診断できます」

趙園長

「死亡時に呼吸困難に陥るという点で、当園のものも、アスペルギルス症と似ています。研究不足により死亡させてしまい申し訳なく思います。天王寺動物園では、人工授精は行なっていますか？」

中川園長

「当園では今から12~13年前に鳥類で実験的に試みたことがあります。しかし現在では殆んど実施しておらず、日本の他の動物園でも同様です。中国ではどの程度実施されているのか実情を教えてください。またハリ麻酔は、どのくらい実施されていますか？」

趙園長

「中国では、家畜の人工授精は早くから行なわれていたのですが、世界の進んだ国々に比べるとまだまだです。ただしパンダは北京動物園で成功しました。5匹に人工授精して、そのうち2匹で成功したのです。上海動物園では、まだやり始めたばかりで、草食動物に主にしています。ハリ麻酔は当園ではしていませんが、よそで馬に対して使用しています」



中川園長

「中国では、地震予知のために動物を使っているようですが、それについて教えてください」

趙園長

「地震予報は、地震局の専門家がしていますが、大衆向けの1つに動物を使う方法があり、敏感性のある動物の展示、観察をしています。地震発生前に魚類に兆候が現われ、中でもドジョウの敏感度が一番高いようです。当園でも、ゾウとキジ類に異常が認められました。ゾウは部屋に入らなくなり、キジは部屋にとび込みました」

正木係員

「当園のクロオオカミをご覧になって、どう感じられましたか？」

趙園長

「オオカミと観客との距離が短いことや、床がコンクリートであることが、繁殖には不利な条件であると思われま」

浅田係員

「第1次交換でマナヅルを頂き、今年でまる4年を迎えますが、まだ繁殖していません。また、コウノトリは、あの飼育環境で繁殖可能でしょうか？」

顧文儀技術官

「当園は、天王寺とは全然飼育状況が違います。マナヅルは上海では翼を切って、天井なしの放飼場で飼育しています。コウノトリも天井が低すぎると思われます。産地では、高い木の上に巣を作っています」

この他、両園の間で交換された、アシカ、モウコレイヨウ、ベニジュケイ等についての活発な意見交換が行なわれましたが、紙面の関係で御紹介できないのが残念です。このような他園との技術交流が今後も積極的に行なわれることを期待して報告を終わらせて頂きます。 (編集:前木 妙子)

天王寺のどうぶつたち (23)

フタコブラクダ(下)



フタコブラクダ舎と3頭の家族

§ 砂漠の舟

月の砂漠をゆらりゆらりと優雅に進むラクダ。というと実に絵になる光景です。しかし、光景は絵になっても乗っている人は大変苦痛だそうです。初めてラクダに長時間乗った人は大抵船酔いに似た症状で悩まされるそうです。そのせいか、ラクダは「砂漠の舟」とよく言われます。ウマの場合ですと初めて乗った人でもこんなことはありません。その理由は両者の歩き方の違いによるのです。

ウマの歩き方は対向歩といって、まず右前足と左後足を同時に動かし、次に左前足と右後足を同時に動かす、つまり、人が手をふって歩く時と同じ手足の動きになります。しかし、ラクダの場合は側対歩



父親のムサン

といって、まず右前足と右後足が同時に、ついで左前足と左後足が同時に動く、つまり生まれて始めて運動会で行進する小学一年生のような手足の動きをします。対向歩の場合、対角線の前後肢が同時に動くので乗っている人はわずかな上下動を感じるだけです。側対歩の場合ですと左右の前後肢がバラバラに動きますから乗っている人は左右に大きくかき回してしまいます。このために船酔いのような状態になってしまうわけです。少しも「楽ダ〜!!」ではありません。

§ 利用価値の高い動物

こんなに乗りづらいラクダでも砂漠に住む人達にとっては宝物です。それは何といってもラクダが水の少ない地方でも生きていけるからでしょう。冬場ですと一週間水を飲まなくても平気ですし、塩分がまじって、他の動物なら飲めないような水でもラクダなら平気で飲みます。また持久力にも秀れていて、スピードではウマにかなわないですが、長距離競争ですと、同じペースをずっと維持できるラクダの方に軍配があがります。そこで原地の人々はラクダをまず運搬用に利用しています。背中に絹を背負ってシルクロードを歩んだのはこのフタコブラクダでしょう。また肉も利用できます。おとなの肉は少々固

いでしょうが、こどものラクダの肉はなかなかのちそうだそうです。牛のようにミルクも利用できますし、皮はテントなどの材料になります。そして特にフタコブラクダの毛はとても良質で、すばらしい織物になりますし、暖かい下着にもなります。水分



母親のサクラ

を殆んど含まない糞は平たくのぼして天火で乾かし、これはとても良い燃料となります。こうやって原地の人々はラクダのすみからすみまでを利用しています。

§ 子供について

フタコブラクダは2月から3月にかけて発情し、交尾をします。そして約400日の妊娠期間で出産。双子ということはめったになく、たいてい1頭です。生まれたばかりの子は目がすでに開いていて、羊の毛のような柔かい毛皮で包まれています。体長は5,60cmですが、体高が1m近くもあり、重心が高いのでヒョロヒョロしてなかなか立ち上げられません。でも、5時間もあれば立つことができます。さて、子供のコブはどうなっているでしょう。親のようなコブが立派に二つあるか、それとも牛のようにない背中が……。実はコブはあるにはあるのですが、中味が空っぽの袋だけで、ペシヨンと横に倒れています。それが生後20日程もすると脂肪がたまり始め、1年もすると立派なコブができあがります。完成するとひとつのコブだけで30kgもあります。フタコブラクダはおとなになると体重が500kg程ですから、2つのコブだけで体重の1割以上を占めているわけです。現地ではフタコブラクダの雄とヒトコブラクダの雌を交配させ、テュルと呼ぶ雑種のラクダをつくります。このラクダのコブはどうなっているのでしょうか。実はこのラクダのコブは「ひとつ半」なのです。後のコブは大きいのですが前のコブが小さい



娘のミルク。こうやって3頭の顔だけ見ても、3頭ともかなり違った顔をしていますね。

のだそうです。こんなラクダにはどうやって乗るのでしょうか。

さてラクダの赤ん坊は成長がとても早くて、生まれて2〜3週間もすると草を食べるようになります。この頃、子供は母親から引き離され、母親の出すミルクはヒトが飲みます。ラクダの赤ん坊にとってはとても迷惑なことです。そして、4,5年もたつとおとなになり、いろいろとヒトに利用され、25年程の寿命をまっとうします。

§ 風前の灯

フタコブラクダの原産地は中央アジアから中国北部にかけてです。しかし、今ではゴビ砂漠に数百頭がいるだけで、飼育下では中国の北京動物園に雄が1頭飼われているだけで、野生のフタコブラクダは国際保護動物となっています。また、今いる野生のものは純然たる野生のものか、あるいは飼育されていたものが逃げだして野生化したものが判っていません。

家畜のフタコブラクダが絶滅することはまずないでしょうが、野生のものはもう風前の灯です。本当の野生種かどうか判らないにしても、こういった動物が絶滅するという事はとても淋しい気がします。



南アメリカに住むラクダの親類のラマ。耳の長さや鼻の形がちがうだけで、やはり似ています。

(長瀬 健二郎：飼育課獣医師)



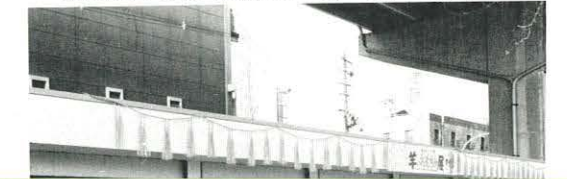
ティも行われました。こちらのパーティーも歌を歌ったり、クッキーを食べたりのとてもにぎやかな楽しいパーティーでした。

§「ボランティア」を募集しています。

天王寺動物園では、毎年夏休みに小学生（4～6年生）を対象としたサマースクールを開催していますが、このお手伝いしていただけるボランティアを募集しております。

動物や自然を愛する高校生以上の方で、サマースクール期間中（7月下旬）、奉仕いただける方の応募をお待ちしております。

【連絡先：天王寺動物園 06-771-8401】



§ 出産動物

12月15日、キョンが赤ちゃんを産みました。キョンは中国本土や台湾に住むシカの仲間ですが、肩までの高さが40cmと、シカの中でも最も小さなもののひとつです。

今回生まれた仔の性別はまだ判りませんが両親や前に生まれたお姉さんとよく一緒に散歩していますので、御来園の際は是非御覧下さい。



また11月24日から産卵し暖めていたワシミミズクの卵が12月30日にフ化しました。ワシミミズクの繁殖は昨年2月19日、4月23日に続き3度目です。1度目も2度目もヒナは2羽でしたが、今回は3羽かえています。育児についてはベテランの両親ですので安心です。

§ キリンの赤ちゃん、パパと同居

10月26日生れのキリンの赤ん坊、タイちゃんは生れて以来ずっとこのキリーと二匹きりでしたが、12月18日の

獣医室から ⑳

動物園のビニール公害

昨年12月初め頃よりダマシカのオスが食欲もなくなり元気も消失し、一日中忙然とした感じの日が続くようになりました。そのうち口からの分泌物も多くなり、日毎に調子が悪くなっていきました。前回は同様な症状をおこしたダマシカが手当ての介なく死亡し、解剖したところ胃の中からビニールのかたまりがたくさんでただけに、今回も胃にビニール類がたまっているのではないかと疑いました。

このように胃にビニール類がたまることについては「なきごえ」1976年11月号に詳しく書きましたが、もう一度簡単に説明してみましょう。

草食獣の内、胃が4つに分かれていて反芻（はんすう）（食べた物をもう一度胃の中から戻してかみ直すこと）する動物、例えばシカ、ウシやカモシカ、キリン、ラクダなどがこういった反芻をする動物ですが、野生動物とちがい、動物園で飼育される場合、入園者の方が不用意に捨てたお菓子の包み紙などのビニール類を誤って食べる機会が多いわけです。胃が1つの動物、サイやシマウマなどでは胃内にビニール類がとどまることはないのですが、反芻動物ではこれらのビニール類が最初の第一胃にたまりやすく、消化もされずにどんどん中でからみあって、ものすごい量になる場合があります。その結果、餌を食べられなくなって衰弱し、死亡する例があり、当園で死亡した反芻動物の20%は胃の中にビニール類がつまっております。これが死亡の原因の一つとして十分に考えられます。

さて、このダマシカも放っておいては前回の二の舞になる恐れがあり、手をこまねいているよりは思いきって外科的手術を行って胃



内の異物を取り出すことがよいように思われました。ただ餌も充分食べておらず衰弱しているものを麻酔して手術することは、危険性も非常に大きいことは当然でした。



12月もおし迫った暮に麻酔銃を用いて麻酔し、研究室に運びこんで3時間にもわたる大手術を行いました。衰弱が激しいためか途中で何度も呼吸がとまりましたが、酸素吸入、人工呼吸、強心剤等の処置により、手術もどうにか順調に進みました。第一胃を切開して中に手を入れたところ、固くねじれたものが感じられました。取り出してみると、おびただしい量のビニールひも、包装用ビニール、ナイロン袋、ビニール網、手袋などがからみあっているのには驚かされました。胃の中をくまなくさがして出てきたビニール類は写真のように2kgもありました。これだけのビニールが胃内につまっていたのは餌も食べられないのは当りまえです。

手術後の経過は順調で、細菌感染予防のための抗生物質や、しばらくの絶食に耐えうる栄養剤の注射を連日続け、やっと少量の餌を食べられるところまで回復したのですが、新年早々、肺炎をおこして死亡しました。

反芻動物のビニール公害については、動物園ではかなり以前から問題になっていることですが、依然このように残念なことが起きることは、入園者の方々にビニールの恐しさをもっと啓蒙（けいもう）することはもちろんですが、我々獣医もこの胃内ビニール停滞の早期発見に一層の努力を払わねばと痛切に感じました。

（飼育課：宮下 実）

くらしを彩るショッピング



近鉄百貨店

アベノ店 (06) 624-1111・上本町店 (06) 779-1231
東京近鉄 (0422) 21-3331

・近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)



ティも行
われました。
こちらのパ
ーティーも
歌を歌った
り、クッキ
ーを食べた
りのととも
にぎやかな
楽しいパー
ティーです。

§ 「ボランティア」を募集しています。

天王寺動物園では、毎年夏休みに小学生（4～6年生）を対象としたサマースクールを開催していますが、このお手伝いしていただけるボランティアを募集しております。

動物や自然を愛する高校生以上の方で、サマースクール期間中（7月下旬）、奉仕いただける方の応募をお待ちしております。

【連絡先：天王寺動物園 06-771-8401】



§ 羊のおもちゃ展

エトにちなむ「羊のおもちゃ展」を1月2日から1月31日まで、北園展示館において開催しました。これは、昔からの人と羊のつながりを、おもちゃを通じて、思いおこそうと、十二支の羊や切手の羊、紙の羊、木の羊、土の羊、牧場の羊、身近な羊、キリストと羊などの外国の羊、16カ国85点、日本の羊85点の羊のおもちゃと羊の資料72点が展示され、好評をばくしました。

▷ 休園日のお知らせ ◁

毎月第3月曜日は休園日です。5月までの休園日は下記の通りです。
2月19日、3月19日、4月16日、5月21日。
開園時間は9時半から4時半までで、4時に切符売止めになります。

§ 出産動物

12月15日、キョンが赤ちゃんを産みました。キョンは中国本土や台湾に住むシカの仲間ですが、肩までの高さが40cmと、シカの中でも最も小さなもののひとつです。



今回生まれた仔の性別はまだ判りませんが両親や前に生まれたお姉さんとよく一緒に散歩していますので、御来園の際は是非御覧下さい。

また11月24日から産卵し暖めていたワシミミズクの卵が12月30日にフ化しました。ワシミミズクの繁殖は昨年2月19日、4月23日に続き3度目です。1度目も2度目もヒナは2羽でしたが、今回は3羽かえっています。育児についてはベテランの両親ですので安心です。

§ キリンの赤ちゃん、パパと同居

10月26日生れのキリンの赤ん坊、タイちゃんは生れて以来ずっとこのキリーと二匹きりでしたが、12月18日の休園日に初めてパパのタカオと御対面しました。それまで金網ごしには会っていたのですが、運動場で初めてパパと一緒にうれしそうに飛びはねて元気一杯でした。

§ 調理場、飼料倉庫建設始まる

増えてきた飼育動物のため手狭になってとても不便になっていた古い調理場、飼料倉庫に代って新調理場、飼料倉庫の建設工事が12月20日から始まりました。建設予定地は現在の倉庫のすぐ西隣で、完成すると2階建てのとても立派な使い易い倉庫になります。完成予定は3月の中旬頃ですが、係員一同新調理場、飼料倉庫完成がとても楽しみです。

§ クリスマス・パーティー

12月23日、淀川区のめぐみ幼稚園の園児を招いてクリスマスパーティーが行われました。動物園からはオランウータンのサツキちゃんが参加しました。みんなでクリスマスの歌を歌ったり、クリスマスケーキを食べたりのとても楽しいパーティーでした。またこの日、ボランティアーズのクリスマスパ

獣医室から ②0

動物園のビニール公害

昨年12月初め頃よりダマシカのオスが食欲もなくなり元気も消失し、一日中忙然とした感じの日が続くようになりました。そのうち口からの分泌物も多くなり、日毎に調子が悪くなっていきました。前回は同様な症状をおこしたダマシカが手当ての介なく死亡し、解剖したところ胃の中からビニールのかたまりがたくさんでただけに、今回も胃にビニール類がたまっているのではないかと疑いました。

このように胃にビニール類がたまることについては「なきごえ」1976年11月号に詳しく書きましたが、もう一度簡単に説明してみましょう。

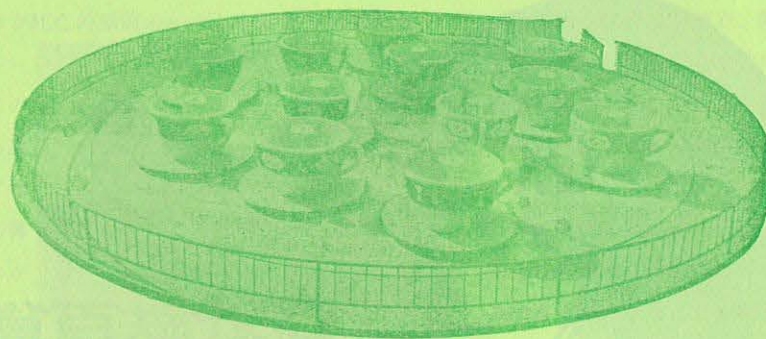
草食獣の内、胃が4つに分かれていて反芻（食べた物をもう一度胃の中から戻してかみ直すこと）する動物、例えばシカ、ウシやカモシカ、キリン、ラクダなどがこういった反芻をする動物ですが、野生動物とちがい、動物園で飼育される場合、入園者の方が不用意に捨てたお菓子の包み紙などのビニール類

内の異物を取り出すことがよいように思われました。ただ餌も充分食べておらず衰弱しているものを麻酔して手術することは、危険性も非常に大きいことは当然でした。



12月もおし迫った暮に麻酔銃を用いて麻酔し、研究室に運びこんで3時間にもわたる大手術を行いました。衰弱が激しいためか途中で何度も呼吸がとまりましたが、酸素吸入、人工呼吸、強心剤等の処置により、手術もどうにか順調に進みました。第一胃

遊園施設委託経営・製作・販売



久竹娯楽株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江御池通2-100
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

なきごえ 昭和54年 2月15日発行(毎月1回15日発行)

編集／大阪市天王寺動物園

発行人／大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所／株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

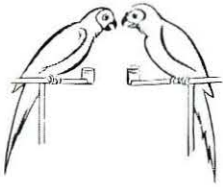
第15巻第2号(通巻162号)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

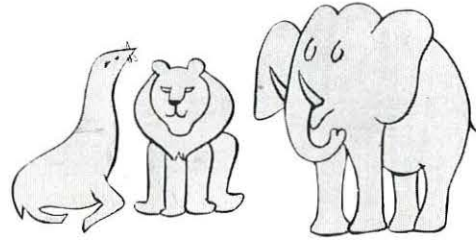
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
 飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はいっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイン・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

板野 健一・前木 妙子・大野 尊信・米田 敏光・樽本 勲・中川 道朗・高橋 真三・豊本 武志
 石島 宏胤・野口 秀高・宮下 美・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明・森谷 文彦・仲谷 登